

令和2年度第3回

小金井市地下水保全会議会議録

## 令和2年度第3回小金井市地下水保全会議会議録

- 1 開催日 令和3年3月8日（月）
- 2 時 間 午後2時00分から午後2時48分まで
- 3 場 所 市民会館3階 萌え木ホール A会議室
- 4 報告事項
- 5 議 題 (1) 前回会議録について（資料1）  
(2) 前回会議以後の修正について（資料2）  
(3) 地下水及び湧水の保全・利用に係る計画（案）について（資料3）
- 6 その他
- 7 次回審議会の日程について
- 8 出席者 (1) 委員  
会 長 楊 宗興  
副会長 山中 勝  
委 員 徳永 朋祥  
委 員 石原 成幸  
委 員 名取 雄太  
(2) 事務局員  
環境政策課長 平野 純也  
環境係長 山口 晋平  
環境係主事 鳴海 春香  
環境係 阪本 晴子  
(3) その他発言者  
プレック研究所
- 9 傍聴者 0名

## 令和2年度第3回小金井市地下水保全会議会議録

楊会長           これより令和2年度第3回小金井市地下水保全会議を開会いたします。

                  まず初めに、事務局から事務連絡と本日の配付資料の確認をお願いいたします。

山口係長       初めに、本日は新型コロナウイルス感染拡大に伴います緊急事態宣言発出中にも関わらず、地下水保全会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、会場が急遽変更となり、御迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。

                  それでは、事務連絡2点と配付資料の確認をさせていただきます。

                  事務連絡1点目、毎度のお願いで恐縮でございますが、御発言の際のお願いでございます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席の間隔を通常より広くとってございますこと、また、マスクの着用をお願いしていることなどから、質疑応答等の御発言が聞き取りづらくなる場面も想定されます。つきましては、御発言の際は、御自身のお名前を先におっしゃった上で、ゆっくりはっきりと御発言いただきますよう、お願いいたします。円滑な会議の運営及び会議録の作成も御協力よろしくをお願いいたします。

                  続きまして、事務連絡の2点目でございます。本日の御審議をもちまして、第3次地下水及び湧水の保全・利用に係る計画案の検討を終了し、小金井市の地下水及び湧水を保全する条例第17条に基づく小金井市環境基本計画に定められる計画として、内部手続きを経た後に、令和3年4月から新たな計画期間が開始されることとなります。

                  同時に策定を行っておりました第3次小金井市環境基本計画案につきましては、既に最終案の検討を終えてございまして、明日3月9日の第6回環境審議会において、最終案の答申をいただく予定でございます。その後、本日御審議いただく第3次地下水及び湧水の保全・利用に係る計画案と合わせまして、今週木曜日3月11日までに内部の修正作業を一旦終えた後、来週火曜日の3月16日に内部の会議にお

きまして確定していく予定でございます。

つきましては、誠に恐れ入りますけれども、本日いただいた御意見や御指摘の対応を後日事務局において検討する時間的な余裕がございませんので、本日お出しいただいた御意見への計画案への反映、方向性などは本日の会議内におきまして、可能な限りお決めいただきまして、修正が生じた場合などの最終確認につきましては、あさって水曜日までに行う必要がございますので、事務局と会長副会長に御一任いただければ幸いに存じます。誠に勝手なお願いで申し訳ございませんが、何とぞよろしくお願いいたします。

続きまして、資料の確認でございます。次第の下段、配付資料御覧いただきたいと思います。資料の1から資料の4まで、合計4点でございます。事前に皆様に郵送させていただいたものと内容の変更はございません。お手元の資料と不足等ございましたら、事務局までお申しつけください。

以上でございます。

楊会長 事務連絡と配付資料の確認が終わりました。何か質問はございますでしょうか。

特になければ、次第の2報告事項に移ります。事務局から、何かあれば報告をお願いします。

山口係長 パブリックコメントの実施結果について御報告申し上げます。本会議で御検討いただいております、第3次地下水及び湧水の保全・利用に係る計画案を含む、第3次小金井市環境基本計画案につきまして、小金井市市民参加条例第15条に基づき、令和2年12月4日から令和3年1月4日の期間で、市民提言制度、パブリックコメントを実施いたしました。提出人数は17人、延べ意見は38件でございましたが、そのうち第3次小金井市地下水及び湧水の保全に係る計画案に対する意見は1人で1件でございます。意見の内容及び対応につきましては、資料2に掲載してございますので、後ほど説明をさせていただきますと思います。

報告は以上です。

楊会長 事務局からの報告が終わりました。ただいまの報告について、何か御質問ございますか。

ないようでしたら、以上で次第2報告事項を終了いたします。

次に本日の議事に入ります。次第の3議事（1）前回会議録についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

山口係長 資料1御用意いただきたいと思います。前回会議における御発言については、本資料を事前にお目通しいただき、御確認はいただけていることと存じます。訂正等ございます場合はページ番号と発言委員名及び訂正内容をお知らせください。本日、本会議において御承認いただけた後は、ホームページ等への掲載手続きを進めさせていただきます。

以上でございます。

楊会長 説明が終わりました。前回会議における各自の御発言について、訂正等がある場合は挙手にて発言をお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは会議録については、訂正を反映させたものを承認するというところでよろしいでしょうか。

各委員の同意がいただけましたので、以上で次第3、議題1前回議事録についてを終了といたします。

議事の（2）と（3）は計画案についての審議です。冒頭に事務局から説明があったように、本日の会議で計画最終案は確定ということになりますが、修正が生じた場合の行政内部の今後の手続きに時間的な制約がかなりあるようです。事務局最終案への御意見や御指摘が本日どれくらい出されるかによりますが、本日の会議内で、可能な限り完結していただきたいと思いますので、進行に御協力よろしく願いいたします。また、本日の審議会においていただいた御意見に対応し、修正が必要となった場合の取り扱いは、事務局と会長副会長に御一任いただくということでお願いいたします。よろしいでしょうかね。ありがとうございます。

それでは、本日の会議において生じた計画案の修正とその確認は会長副会長に御一任いただけたということで、この先の審議を進めさせていただきます。

それでは、議事（２）、前回会議以降の修正についてと（３）地下水及び湧水の保全・利用に係る計画案については、合わせて審議したいと思います。事務局から資料の説明をお願いします。

山口係長

資料２及び資料３御用意いただきたいと思います。

最初に資料２第２回地下水保全会議後の修正についてでございます。本日資料３として配布してございます計画案につきましては、前回第２回の会議後に何点かのポイントで修正を施したものでございます。

１点目が項目１全体会議での御指摘及びパブリックコメントとその対応です。修正区分別に説明いたしますと、白い星印が前回第２回の会議でいただいた御意見のうち、パブリックコメント前に修正が間に合い、会長副会長に御確認いただいた後にいただいたものです。二重の丸印でございますが、こちらが、パブリックコメントとその対応、パブリックコメント１件でございますが、その対応。黒い星印がパブリックコメント後に反映した前回会議での御指摘部分となります。

２点目が項目の２水収支推計に係る自主的修正でございます。データの多くが年度値であることから、年度単位に統一を行ったりですとか、蒸発散量の数値の修正を行いました。内容の詳細は資料を御確認いただきたいと思います。

また、項目３として、雨水浸透ます設置基数等のグラフでの示し方について、水収支推計においては、累計値として、効果を発揮すると仮定していること、また、本市の取組み努力やその結果を分かりやすく示すため、累積値グラフとして示してまいりましたが、パブリックコメント後、庁内の照会におきまして、所管課等より単年度値に記載を希望する回答がございましたために、内部で調整を行いました結果、単年度の表記とさせていただいております。理由や影響等につきましては、資料を御覧いただければと思います。

資料に基づき、資料３の計画案において、内容修正等施した部分については、資料３に内容を赤字にて表記してございます。御審議いた

だく際はお手数なのですが、資料 2、資料 3 合わせて御確認いただきながら御意見等賜りたいと存じます。

以上です。

楊会長 事務局の資料説明が終わりました。それでは、資料 2 と資料 3 を用いて、資料 3 の章ごとに審議を進めていきたいと思えます。

最初に資料 3 の 9 1 ページ、第 1 章計画の基本的事項についての御意見御質問をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、次、第 2 章にあってよろしいですね、第 2 章について、まず最初に私から。図の 2 と図の 3 についての紹介というか言及が本文中にないんですね。こういうのは、多分、あったほうが読みやすいなので、どこかに入れていただければと思えます。

ほかはいかがでしょうか。

石原委員 2 章全体でよろしいですか。2 章全体の話として。

9 7 ページなんですけれども、地下水の状況のところ、一番最後のところの米印で、コメントというか参照引用の話が 1 1 4 ページというふうに書かれているんですけども、ここでこのコメントというか補足説明の中で、「地下水測定を行う地下水測定部会など」という形で言及されてるんですが、これ 1 0 5 ページのところ、1 0 5 ページの一番下の丸ぼちのところ、この測定部会のことについて、1 0 年過ぎて活動を終息するというようなこういうことも書いてあるもんですから、もし支障がなければ、1 1 4 ページの前に 1 0 5 ページ・1 1 4 ページにされたほうがいいのかという、参考意見です。

楊会長 石原委員のおっしゃっているのは、9 7 ページの一番下のほうのですかね。

石原委員 そうです。1 1 4 ページ参照と書いてあるところの前に 1 0 5 ページを加えたほうが丁寧かなという、そういう参考意見でございます。

山口係長 記載内容を改めて確認の上、適切に修正させていただきたいと思  
います。

楊会長 事務局で承認いただきました。  
そのほかはいかがでしょうか。

石原委員 引き続きよろしいですか。

ちょっと教えていただきたいんですが、107ページの図の15な  
んですが、前回もちょっと議論になった概念図のことでございます。  
これ、今回、降雨量等が大勢に影響はないというコメントを資料2の  
ほうでいただいていることは十分承知しているんですが、降雨量等が  
変わり、蒸発散量等も変わっているということで、地下水系の水収支  
ということも、前回604から781と、177増えてるわけですが、  
これは基本的に、この資料2に書かれているデータのリンク切れによ  
る計算ソフトのトラブルの問題と、あと降雨量を年から年度に変えた  
ことによるものという理解でよろしいでしょうか。

プレック研究所 そうですね。前回600台から700台に変化したことに関し  
ては、2つの要因がありまして、前回リンク切れがなければもうちょっ  
と上がってたんですけども、前回また改めて御指摘いただいたもの  
を修正したり、雨の量を年値から年度値に変わったというのもあって  
変更になっています。

石原委員 はい、ありがとうございます。

プレック研究所 すいません、781と図では書いてあるんですけど、実は資料の  
4のほうの値が、計算結果として正しく表現されていて。資料の4の  
16ページ、最後から2枚目のところの、表の右下の776というの  
が、今の確定値となりますが、このポンチ絵に反映するのを忘れてし  
まっております。

石原委員 そうすると、107ページの各数値を資料4の16ページの数値に

最終的には変わるということによろしいですか。

プレック研究所 はい。

石原委員 はい、解りました。

楊会長 ほかはいかがでしょうか。

よろしいでしょうかね。それでは、ほかにないようであれば、次の章に移ります。

105 ページ、第3章地下水・湧水の保全の取組に関する評価と課題について、いかがでしょうか。

徳永委員 図の15の真ん中より上の辺りに河川等と書いているところと、湧水の湧水源となる領域と書いているところに、書かれている両方向に向かっている矢印は、これは何を意味しているのでしょうか。御説明いただければ。

プレック研究所 本来計算には入れておらないんですけども、実際はこの間に水のやり取りが生じているだろうという記号として入れております。

徳永委員 それは、どこかで説明されてるのでしょうか。

プレック研究所 考慮しているかしてないかとか。

徳永委員 いえいえ、この図の説明として。例えば、本文中に書いているとか、図の説明文の中に書いているとか、そういう意味での質問です。

プレック研究所 そういう意味では特には書いておりません。

徳永委員 うん。この両方に向かっている矢印がけっこう大きいので目立つんですけども、数字がなくて、かつ、何を示しているのかという説明が書かれていないので、もっと早くに気がつけばよかったんですが、

すいません。ちょっと今見ていて分からなかったので質問差し上げました。

プレック研究所 106ページの推計方法の概要のところ、1ポツ目なんですけれども、実際の水循環プロセスは、地下水層における地域境界面、隣の市とかに通じた水の移動、あるいは河川を通じた水の出入りがあるんですけども、実際あるんですけども、その推計が難しいので、今回は推計対象外にしているというようなことを106ページに書いておきます。それをちょっと短くしたものを図の15の注釈の1個目にも書いておきます。

楊会長 図の15に関しては、この会議の席で結構いろんな意見が出て、随分よくなってきたと思うんですね。だけど、今、徳永委員がおっしゃったように、ここの部分だけ、何か、図の書き方が特別になってますよね。だから、ちょっとすごく未整理に感じてしまうんですね。ここは例えば、推定が難しいということであれば、細い点線にするだとか、その細い点線に関しては、欄外で推定が難しいのでこれこれと仮定しただとか、そういうふうな取り扱いをしていただくのがいいのかなと、図として、ここの部分だけ、何かぼーんと説明なしに強調する形で出てくるのはちょっとやっぱり違和感があるかなと思うんですね。ということで、それでよろしいですか。じゃあその辺の修正を事務局のほうで、お任せしますので、よろしく願いいたします。

ほかはいかがでしょうか。

山中副会長 よろしいですか。先ほどの徳永委員の発言に多少関連するのかもしれませんが、ちょっと気になったのが、これ全て数値は、細かいことなんですけど、黒字で書いてあるんですけど、最後のIの部分だけ、色が水色になっているというのは、何か理由が。

プレック研究所 ここの部分ですか。

山中副会長 そうですね。と言いますのは、先ほど石原委員が発言されて776

という数字が出てまいりましたけれど、それがちょっと、私、さっと探したときに、どこに対応するのかというのが、分からなくて、何か、黒じゃないので、背景と紛れてしまっている、数字が書いてあるにも関わらずというふう感じたものですから。特段意味がないのであれば、黒のほうがいいんじゃないかなという気がいたしました。

プレック研究所 この推計は水収支の推計をならすのが目的といった意味で、ゴールという意味で色を付けておったんですけれども、今おっしゃったように、数値は数値で色を統一したほうが見やすいということであれば、黒にしたいと思います。

楊会長            じゃあよろしくをお願いします。  
                  ほかはいかがですか。よろしいですか。  
                  ほかにならないようであれば、これは終わって、4章ですね。地下水及び湧水の保全・利用に係る取組についてですが、いかがでしょうか。

プレック研究所 この113ページの写真の7なんですけれども、これは掲載許可を取るということで資料にしておったんですけれども、本日、掲載の許可をいただきましたので、この写真かもしくはちょっと後ろのバケツとかが気になるということであれば、撮り直しもオーケーはいただきましたので、この写真を掲載するということが問題なくなっております。

楊会長            はい、了解しました。  
                  何かございますか。よろしいですか。

石原委員        すみません、ちょっと確認なんですけれども、第4章こちらをいろいろと書かれていらっしゃって、第5章のほうの進行管理でそれぞれ指標が出てるかと思うんですけれども、これ環境基本計画との関係であれば全然構わないんですが、せっかくだったら第4章の各項目に該当する管理指標のページなりを、前の章で見られたように米印かなんかで参照として書かれるのもいかがかなと思ったんですけれども、無

理にということではなくて、整合性がもしとれたり、それで可能であればというお話の意見です。石原でした。

楊会長 第4章のそれぞれについて、関連する。

石原委員 そうですね。第5章の指標のところ。

楊会長 いかがなんですか、そういう書き方は可能でしょうか。

山口係長 対応できます。対応させた形で表記を考えさせていただきます。

石原委員 ありがとうございます。

楊会長 はい、ありがとうございました。

ほかはいかがでしょう。

ないようであれば、次の章に移ります。最後ですが、114ページ第5章推進体制及び進行管理についてですが、いかがでしょうか。

名取委員 117ページの一番上ですね、進行管理の指標、取組2のところですね。水収支のところが進行管理の目標とは、指標の設定はしないということは前回の意見を反映していただいた部分でよろしいかなと思っていますけども、修正というよりはコメントですけども、収支を出す、いずれ出すことになると思いますので、そういうの必要な情報については確実に収集して整理しておく、そういうことだけは確実にやっておくことが重要かなというふうに思っています。それがこの米印の上のほうに表れているというふうに理解すればいいのかなというのは思うんですけど、一応確認のためのコメントでございます。

あとは、ここの米印の2つ目が、「傾向を見る必要があります。」というところが、ですます調にするのか、である調にするのかというところは御検討いただけたらなど。

以上です。

楊会長 コメントいただきましたので、御参考くださるように。

山口係長 言い回し等合わせまして、全体的にはまたチェックをしまして対応していきたいと思います。

楊会長 ありがとうございます。  
ほかはいかがでしょうか。

石原委員 よろしいですか。私のほうもコメントなんです。今回の修正うんぬんというお話じゃないんですけれども、今回、所管課からの申し出ということで、103ページの雨水ますの設置基数が年度ごとの累積じゃなくて単年度グラフになったということで、こちらの117ページにあります、進行管理指標の目標値、毎年2000基以上というのが、だいたい今までのところ目標がトータルできているという形になってるかと思うんですけれども、なかなか長期的にやっていくとこの数字を維持するというのも非常に難しいところも出てくるかと思ひますし、今回本文のほうでも書いて頂いているわけですけど、推計値のほうで維持管理上で浸透率を7割に落とすというようなお話で計算していただいているわけですが、やはり数もなんなんですけれども、設置して維持管理して、浸透量を確保するということが今後大事になっていくと思うので、これは、市さんの予算の取り方の問題なので、私どもが言及すべき話じゃないかもしれないんですが、基数だけじゃなくて、今後として維持管理費に予算を充てていくという、併用していくというのも1つ有効な施策じゃないかということで、すみません、今回のものに反映する云々じゃなくて、こういう書き方をされているものから、今後その辺を御検討いただくのも一考かなというふうに思ひまして、僭越ながら参考としてコメントさせていただきます。

楊会長 ちょっと、私自身がよく分かっていないんですけど、維持管理が重要だということなんですか。

石原委員 浸透ます、やはり隙間があって、そこから地中に水が流れていくわ

けですけど、やはりごみ等がたまってきますと、その隙間がなくなる  
ことによって目詰まりをして、浸透の効率が悪くなるということが分  
かっておりますので、例えば、透水性舗装なんかも、高圧のジェット  
でもって洗浄することによってそこの浸透を維持するとかという維持  
管理を行うことがあるんですね。それと同じように、個別の家の浸透  
ます、なかなかそういうことが個人でなかなかできるものじゃないも  
のですから、補助金とかが少しでも出れば、そういうことにも役に立  
つのかなというお話です。

楊会長                   これは、どういう形にすればよろしいでしょうか。

山口係長                今、石原委員おっしゃっていただいたことなんですが、市として予  
算を組み、やる、個別に補助金を出す、そこまで話は行ってございま  
せん。110ページをちょっと御覧いただければと思うんですけど  
も、維持管理、一度設置した雨水浸透ますの維持管理、おっしゃって  
いただいたように能力が目詰まりでどんどん落ちていったものの、メ  
ンテナンスを、あくまでコラムという形で一般的にということではご  
ざいますが、現在、御懸念いただいたように政策だとか予算だとか言  
われた形にもなりますが、そこまでは話は行っておりませんけれど、  
一般的なコラムという形ではこの辺で啓発を載せるという形でさせて  
いただければなという形で、今回はこのようにやらせていただしてい  
る次第でございます。

石原委員                すみません、十分、市さんの立場は分かっている、今後そういうこ  
ともお考えいただければという意味なので、御留意ください。ありが  
とうございます。

山口係長                すみません、序盤に、このコラムを載せるに当たって、担当部署に  
も確認はしたんですけど、一般住宅は別として、公共施設くらいは  
徐々に、まずはやっつけていかなければ能力が下がっていくという話はし  
ているところでございます。

石原委員           ありがとうございます。

楊会長            市としても十分意識はされているということ。今後も引き続き留意してということです。ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうか。

それでは、最後にこの資料4、資料編及び計画案全体を通して何か御意見はございますでしょうか。

石原委員           よろしいですか。資料4の10ページのC1の浸透ますによる浸透量のところなんですけど、推計式のところの計算、能力残存率0.7なんですけど、多分、下のこれ、米印の※4のあれが、上のコラムの中抜けてるのかなと思いますので、お願いしますということです。

楊会長            どれですか。

石原委員           計算のここに、この※4が対応してきて、※4が上のほうに抜けているかなということです。

プレック研究所   御指摘ありがとうございます。抜けておりました。

石原委員           お願いします。

楊会長            ありがとうございます。

名取委員           資料4、資料編でいいのかなと思うんですが、今回年値じゃなくて年度値に統一されたということで、統一するのは非常にいいことだと思うんですけども、年度値であるということをどこかにちゃんと明記しておいていただいたほうが後々使う方が間違いないかなと思いますので、どこかに書かれていたらすみませんが、改めて確認いただいて、ご対応いただけたらなと思います。

楊会長            コメントいただきましたので。

プレック研究所 ありがとうございます。改めて確認して分かるようにしておきます。

楊会長 ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

山口係長 いただいた御意見、修正部分等、ここで一旦確認をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

第2章でございます。小金井市の地下水湧水をめぐる現状の94、95ページでございます図2と図3の内容についての、本文に触れていないということで、ともに言及をいたす内容をこちらで追記をさせていただきたいと思います。

続きまして、97ページの一番下の米印、環境市民会議で地下水測定部会の活動内容等の参照部分でございますが、石原委員が105ページに関連があるので、そちらを追記したらどうかという御意見をいただきましたので、こちらの追記を検討させていただきたいと思います。

続きまして、107ページの図15、本市の水収支の概念図のBとDの下に向く矢印でございます。こちらのほうですね、徳永委員、楊会長から御指摘いただきました。表記の仕方、点線等にするなどして、対応させていただきたいと思います。

続きまして、下のIの地下水系の水収支の文字色でございます。一応事務局のほうでは色を変えることによってと思いましたが、逆に見えづらくなっていたようでございます。同じように黒色のほうにさせていただければと思っております。

続きまして、116ページ、第5章で記載させていただきました、それぞれの指標に関わる第4章の内容については、それぞれ表記をしたほうがいいのかという御意見いただきましたので、確認いたしましてそのようにさせていただきたいと思います。

続きまして、第5章の117ページの上の米印です。ですます調、語尾の修正等はここに限らず、全体を確認いたしまして、合わせるようにさせていただきます。

資料編にまいります。まず、今回資料の数値を年度値にさせていただきました。年度値でさせていただきました内容の表記をしてごさいませんので、そちらのほうはそのようにさせていただきたいと思います。

最後になりますが、資料編の10ページです。C1浸透ますによる浸透量の一番下の※4の対応する※4が推計式の中に表記をされていないということを御指摘いただきましたので、そちらを表記をさせていただきたいと思います。

我々のほうで確認いたしましたのは以上でございます。何か漏れ等ございましたら御指摘ください。

山中副会長 資料編で、ちょっと私の認識が間違っていた、計算が間違っていたら申し訳ないんですが、ぱらぱらっと見たときに、10ページのC1の浸透ますの浸透量、推計式のところなんですけど、間違っていたら申し訳ないんですが、mm/年×m<sup>2</sup>/基で、これ単位のところ、最後のところ、×10<sup>-6</sup>となってるんですけど、これ他のものもそうなんですけど、10<sup>-3</sup>ではないでしょうか。もし間違っていたらすみません。同じように思ったのが、次のページの、やはりCの2の推計式のところの10<sup>-6</sup>で、3のところも10<sup>-6</sup>で、Hのところの推計式も恐らくこれも10<sup>-3</sup>なんじゃないかと思うんですけど。間違えていたら申し訳ないんですが、今一度確認をしていただければと思います。

プレック研究所 ありがとうございます。エクセルでは千立米で計算作業をしてたりするところがあって、10<sup>-3</sup>がずれがあるのかもしれないので、そこは、最終的に確認しまして、正式な表記に直したいと思います。

楊会長 もしかしたらということで、御指摘いただきましたので、御確認いただいて、必要であれば修正してということになります。

よろしいでしょうかね。

それでは、今日指摘していただいた件、それからそれに対する事務局としての対応については、今まとめていただきましたので、これで確定ということで。

それでは、議事について、これにて終了といたします。

それでは、次第4その他として、事務局委員問わず何かございますでしょうか。

山口係長　　すいません、冒頭申し上げればよかったですけど、本日、令和元年度の環境報告書というのを机の上に置かせていただきました。令和2年度が終わりそうな中、こんな遅い時期に大変申し訳ございません。御参照いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

楊会長　　ありがとうございました。

平野課長　　私のほうから一言申し上げます。平成30年11月より改定作業を開始させていただきました、地下水及び湧水の保全・利用に係る計画につきまして、おかげさまで、本日完成ということになりました。委員の皆様におかれましては、2年以上の長きにわたり、たくさん貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。日本を代表する権威であられる皆様に本市の計画改定に取り組んでいただけたことを、大変誇りに思っております。ただ、計画は作って終わりではなくて、ここからスタートであると、改めて気を引き締め、精一杯取り組んでまいりますので、引き続き御指導御鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。まずは、計画改定につきまして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

楊会長　　お言葉どうもありがとうございます。

ほかに特にないようであれば、次第の5ですね。次回の審議会の日程について事務局から、よろしくお願い致します。

山口係長　　令和3年度の地下水保全会議でございますけれども、例年通り、年間3回を予定しております。例年第1回目は6月から7月の中旬くらいを開催の日程とさせていただいておりますことから、またこちらから日程表のほうを送らせていただきますので、分かる範囲で結構で

ございます、記入いただいて、御返送いただければと思います。  
以上です。

楊会長

事務局から説明をいただきました。

ほかに何か御意見ございますでしょうか。なければ、以上をもちまして、本日の議事は全て終了したということにいたしたいと思います。

これをもって、令和2年度第3回小金井市地下水保全会議を閉会いたします。お疲れさまでございます。

— 了 —